

府省名	文部科学省	部署名	大臣官房省改革推進・コンプライアンス室
-----	-------	-----	---------------------

取組のポイント

「文部科学省創生実行計画」(平成31年3月策定)に基づき46項目の取組を推進。外部有識者からなる「コンプライアンスチーム」の設置、職員のアイデアを政策として実現する「提案型政策形成」の導入、コールセンターの導入等による業務効率化、省幹部と若手職員との意見交換など幅広い取組を実施。これらの取組の成果として、職員の職場満足度は64.1%(R1.5月)から72.7%(R2.7月)に上昇し、平均在庁時間は前年度比17.8%減少(R1年度)。

取組概要

【取組の背景】

文部科学省では、一連の不祥事を真摯に受け止めた上で、国民に信頼される新しい省の在り方と、その実行方策を検討するため、有志職員約170名による「文部科学省未来検討タスクフォース」での議論・報告を踏まえ、「文部科学省創生実行計画」を策定、定期的に進捗管理をしながら取組を進めている。客観的な数値の確認や職員意識調査も行い、依然として残る課題(マネジメントや人間関係、労働環境等)も踏まえ、今後の強化ポイントの取りまとめを行った。

【取組の内容】

計画で掲げる46項目全ての取組を実施。主な取組は以下のとおり。

- 自由闊達な組織文化への転換
大臣・副大臣・大臣政務官や次官等の省幹部と若手職員の意見交換の場を設定(約20回)。
- コンプライアンス、情報管理の徹底
弁護士等の外部有識者からなるコンプライアンスチームの設置、文書管理・情報管理の徹底
- 若手のアイデアを政策として実現
所属・役職を問わず有志職員が組織横断的に政策立案に参画する「提案型政策形成」を導入。職員から募集し選定された提案の事業化が実現。
- 業務改善の推進
幹部職員と有志職員(約160名)による業務改善推進体制の整備・意識の醸成、コールセンターの導入、国会対応業務の効率化、有志チームでの勤怠管理アプリの構築等
これら取組について、客観的データの把握や職員意識調査も行いつつ成果を検証、令和2年7月に進捗状況と今後の強化策を取りまとめた。今後も更に推進予定。

【取組の成果】

職場満足度は、R1.5月:64.1% から R2.7月:72.7%に上昇するなど職員意識の向上が見られるほか、特に業務改善の取組を通じ、超過勤務縮減やペーパーレスの効果を確認。

- ・平均定時外在庁時間(令和元年度実績) 前年度比:17.8%減
- ・コピー・プリント枚数(令和元年度実績) 前年度比:16.0%減
- ・深夜帰宅時等のタクシー使用料金(令和元年度実績) 前年度比:23.4%減



【文部科学省創生実行計画】



【政策対話の取組(コロナ禍前)】

講評

全省あげて専門部署を設け推進している点、ターゲットを明確化し、各ターゲットの実現に資する対応策を講じ、それを定点観測しながら新たな課題設定をする点は、確実に組織文化、業務改革等につながると思われ評価できる。定時外在庁時間の減少など成果も上がっている。